



しまくとぅばアーカイブロードマップの概要

目的

沖縄文化の基層であるしまくとぅばが消滅すると、沖縄の組踊や琉球舞踊、島唄等も衰退するとともに、県民の郷土愛等も失われ、結果的に沖縄文化の衰退へと繋がるものと危惧される。

そのため、しまくとぅばを主に話す世代がいる間に、しまくとぅばを保存するとともに、次世代へ継承するための取組が必要であることから、アーカイブ化のために実施すべき取組と目標及びその実現までの工程を示す「しまくとぅばアーカイブロードマップ」を策定する。

しまくとぅばアーカイブにおける 目標

- ①しまくとぅばによる文法調査票の収集:44地域
- ②収集した文法調査票と連動した教材の作成:36種類
小学校3種(低学年・中学年・高学年)×9地域
中学校1種 ×9地域
- ③しまくとぅばによる歌の収録:196曲以上
小学校3曲(低学年・中学年・高学年)×49地域=147曲
中学校1曲 ×49地域=49曲
- ④しまくとぅばによる文学的文章(詩、小説、随筆、物語等)の収録:196編以上
小学校3編(低学年・中学年・高学年)×49地域=147編
中学校1編 ×49地域=49編
- ⑤しまくとぅばによる自然談話の収録:10話以上
5地域(国頭、沖縄、宮古、八重山、与那国)×2=10話

事業期間

令和4年度から令和8年度までの5年間 (令和4年度当初予算 22,500千円)

実施体制

委託先:国立大学法人 琉球大学(島嶼地域科学研究所)
関係機関との連携:市町村、県及び市町村教育委員会、県及び各地域の文化協会 等

しまくとぅばアーカイブにおける取組内容

文法調査票の収集

しまくとぅばの保存、継承には、言語学に裏打ちされた体系的な言語教育(文字指導、発音指導、語彙指導、文法指導)が重要であることから、必要な文法的事項が織り込まれたしまくとぅばの文法調査票により各地域のしまくとぅばを収集する。

(調査票6種:動詞活用、動詞活用型、形容詞活用、形容詞語彙、名詞形態論、存在動詞活用)

○収集する地域:収集する地域は、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語が使用される県内5地域で行うものとし、地方行政区画便覧(1886)における間切及び有人離島を加えた81地域とする

※実施にあたっては、文化庁における先行事例として実施されている「危機的な状況にある言語・方言のアーカイブ化を想定した実地調査研究」とも連動し、81地域全てをカバーするようにする。

県事業:44地域 国等事業:37地域

収集した文法調査票と連動した教材の作成

教材については、小・中学校での使用を想定し、収録した文法調査票と連動したものとし、次のとおり作成する。

(1) 作成する教材の内容については以下で1セットとする。

- ①教材用テキスト
- ②教師用手引き
- ③指導案

(2) 教材1セットを作成する種類

- ①「小学生のためのしまくとぅば(低学年用)」ー〇〇〇(地域名)」
- ②「小学生のためのしまくとぅば(中学年用)」ー〇〇〇(地域名)」
- ③「小学生のためのしまくとぅば(高学年用)」ー〇〇〇(地域名)」
- ④「中学生のためのしまくとぅば」ー〇〇〇(地域名)」

歌、
文学的
文章
の
収集

児童・生徒をはじめ一般的に皆がよく知る歌や詩、小説、随筆、物語等をしまくとぅばにすることは、その歌詞や物語の内容等の意味を理解していることから、解説無しに理解することが可能であり、しまくとぅばの習得には有用であると考えられることから収集を行う。

- ①小・中学校の音楽、国語の教科書に掲載されているもの
- ②教科書に掲載されているもの以外で、学校行事(学習発表会、運動会等)での活用が期待されるもの

自然
談話
の
収集

ことばは、共同生活を行っていく中で継承、蓄積され、社会の発展とともに変化してきた社会的かつ歴史的な存在であることから、地域の人々がその土地の自然とどのように関わり認識したのか、どのような社会生活を送って暮らしてきたのかを保存するため、各地域のしまくとぅばで自然談話の収録を行う。

[自然談話のテーマ例]

- ・幼い頃の島の生活
- ・祭り(行事)
- ・親の生産活動の状況 等

アーカイブ化後の活用について

公
開

公開場所:しまくとぅば普及センターHP(しまくとぅばナビ)及び琉球大学

収集した文法調査票、歌、文学的文章及び自然談話については、各地域のしまくとぅばの違いが比較できるよう、各年度末までに収集した文法調査票を一覧形式で掲載

教
材
等
の
活
用

収集した文法調査票を基に作成した教材については、R8年度に電子版(可能であればアプリ)として公開するとともに、小・中学校及びしまくとぅば普及センターでの活用に取り組む。

- ①小・中学校における活用:モデル的に作成する9地域での活用
- ②しまくとぅば普及センターにおける普及促進の取組における活用(講師(話者)派遣講座による活用、各種シンポジウムの開催等)

しまくとぅばアーカイブ事業年度実施計画表

事項		年度					数値目標
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	
調査票の収集	動詞活用調査票	44地域					しまくとぅばによる文法調査票の収集地域：44地域 調査票 6種類
	動詞活用型調査票			44地域			
	形容詞活用調査票		44地域				
	形容詞語彙調査票			44地域			
	名詞形態論調査票		44地域				
	存在動詞活用調査票				44地域		
教材の作成	小学校（低）ひな形						収集した文法調査票と連動した教材の作成：36種類 小学校用3種（低学年・中学年・高学年）×9地域＝27種類 中学校用1種×9地域＝9種類
	小学校（中）ひな形						
	小学校（高）ひな形						
	中学校ひな形						
	モデル9地点の教材		随時、文法調査との連動作業及び解説等作成			電子版テキストの作成	
しまくとぅばによる歌の収録	小学校①×49地域	小学校2②×49地域	小学校③×49地域	中学校×49地域		歌の収録：196曲以上	
しまくとぅばによる文学的文章の収録	小学校①×49地域	小学校2②×49地域	小学校③×49地域	中学校×49地域		詩、小説、随筆、物語等の収録：196編以上	
しまくとぅばによる自然会話の収録	2話程度	2話程度	2話程度	2話程度	2話程度	自然談話の収録：10話以上	